

令和2年度決算の状況について

- ◆国の交付金等を活用した新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだことにより、決算規模は歳入・歳出ともに過去最大。
(特別定額給付金41.6億円、コロナ交付金6.8億円など)
- ◆令和2年度の実質収支は、昨年度から4.5億円改善し14.8億円。
- ◆実質収支14.8億円の用途については、新型コロナ対策や、除雪等災害対策などへの対応を優先。
(基金への積立については、新型コロナ対策や除雪等災害対策などの状況を踏まえながら、年度末に向けて検討。)

「決算の概要」

(単位：千円)

年度	①歳入	②歳出	③形式収支 (①－②)	④繰越すべき 財 源	⑤実質収支 (③－④)	⑥単年度 収 支 (前年度実質収支 との差額)
R02	23,311,229	21,758,559	1,552,670	67,973	1,484,697	451,140
R01	18,743,315	17,673,625	1,069,690	36,133	1,033,557	150,934
H30	19,273,341	18,326,773	946,568	63,945	882,623	329,676

(実質収支の主な増加要因) ※予算対比

- ①地方交付税の増 (大雪に伴う特別交付税の増等) + 1.8億円
- ②Jof交付金関連 (一財をJof交付金に振替え) + 1.6億円
- ③下水道事業会計繰出金の減 (施工延長の減等) + 1.1億円
- ④固定資産税等市税収入の増 + 1.0億円

実質収支14.8億円のうち1.9億円(9月1日時点：前年同期2.4億円)を、前年度からの繰越金として本年度予算に計上済

(参考) 基金年度末残高の推移

(単位：千円)

年度	基金残高	うち財政調整基金残高 (R6末目標額10億円)
R02	1,982,219	662,385
R01	1,532,817	462,376
H30	1,328,190	259,344